

煌めく山梨ジュエリーの魅惑

国内有数のジュエリー産地「山梨」はジュエリーづくりのためのすべての工程がそろっています。

JEWELRY

山梨のジュエリー産業は、県北部の金峰山一帯を中心とする地域から水晶が産出されたことをきっかけに誕生しました。その始まりは江戸時代末期にさかのぼり、天保年間に甲州へ水晶の買い付けに通っていた京都の玉造職人が、昇仙峡奥地の金桜神社の神職たちに水晶研磨技術を伝えたとされています。さらに明治時代になると「飾り」という貴金属加工の技術が結びついたことで、市場性が高い装身具に特化した産業が発展していきました。大正時代になるとカットング技術も飛躍的に進歩し、また機械化も進んだことから大量生産が可能となり「水晶の山梨」の名は全国に知られ、大きな発展を遂げていきました。昭和に入り戦争が始まると産業は大打撃を受けますが、戦後進駐軍の兵士たちの土産物としての需要が高まったことから息を吹き返し、以後、東京五輪や高度経済成長を追い風に発展していきました。現在も山梨は国内有数のジュエリー産地です。それはいつの時代も研鑽を重ねた職人たちの精神と技の賜物と言えるでしょう。そして、山梨のジュエリー産業は、さらなる発展のため国際的競争力を持つブランド化を目指し、挑戦し続けています。



「水晶峠産水晶晶族」(山梨大学所蔵)



【上】『Think…あふれる』(Koo-fu Collection 2016-SPLASH-)
デザイナー 飯島恵子
【下】『Cube』(born jewelry)
貴石彫刻家 詫間康二



「着色黄水晶 帯留(大正初期)」
(山梨大学所蔵)



「第十号傾斜式双晶(産出地:山梨県増富村小尾)」
(山梨大学所蔵)



【上】石製勾玉、管玉 【下】水晶製切子玉 碧玉製管玉
(山梨県立考古博物館所蔵)

TOPICS #1

山梨が培ったジュエリーの神髄
「Koo-fu」が放つ煌めきの世界



画像提供:山梨ジュエリープロジェクト

ジュエリーの街「山梨」から発信する産地ブランド「Koo-fu(クーフー)」のブランドテーマは「自然で繊細な優美」。それはジュエリーの本来あるべき姿を意味します。山梨で研究開発された質の高いオリジナル素材と高度な加工技術、そしてジュエリーデザイナーたちの感性の融合によって生み出される作品は「Koo-fu COLLECTION」として発表され、海外でも注目されています。企画・デザイン・原料調達・製造・流通まで、ジュエリーに関わるすべての工程が揃う世界的にも稀な集積産地・山梨だからこそ実現したKoo-fu.ものづくりに精魂を傾ける産地の誇りをこめた作品は、人の心を魅了する美しい煌めきと奥深い魅力をたたえています。

TOPICS #2

「山梨ジュエリー」の魅力を発信
山梨ジュエリーミュージアム



山梨県立宝石美術専門学校附属ジュエリーミュージアム

山梨の地場産業であるジュエリーの素晴らしさを発信するミュージアムです。山梨が一大産地となっていた歴史をひもとき、水晶など鉱物の展示とともに、それらを加工する道具の解説、また山梨で活躍する作家の作品など、ジュエリー産地ならではの多彩な魅力が展示や映像により紹介されています。職人による実演や体験工房もあり、子どもから大人までジュエリーの魅力にふれあいながら楽しむことができます。このミュージアムは、山梨県立宝石美術専門学校の附属施設であることから、宝飾技術や教育につなげる施設として、ジュエリーに夢を抱く人材育成や、未来の山梨県のジュエリー産業の創造につながることを目指しています。

TOPICS #3

受け継がれる伝統の技
職人たちの熱き想い



貴金属加工、宝石研磨、水晶美術彫刻など、山梨には優れた技術を持つ職人たちがいます。現在は最新鋭の機械が導入され、さらなる技術革新が進んでいますが、やはり最後は人の手、つまり職人の卓越した技がジュエリーに命を吹き込むのです。手づくりの伝統の技が絶えることなく今も受け継がれているのは、真摯にジュエリーと向き合い、先輩から学び、研鑽を積み、それをまた次世代につなげていった職人たちの地道な努力があったからこそ。思うようにいかず失敗も繰り返しながら、懸命に経験を積み重ね、身につけていく繊細な指先の感覚。技を極める職人たちの熱きジュエリーへの想いが時代のニーズに応える新しい煌めきを生み出しているのです。

TOPICS #4

技と技が織り成す
甲州貴石切子の煌き



山梨を代表する職人2人のコラボレーションにより、産地・山梨の新時代到来を予感させる「甲州貴石切子」が誕生しました。表面には甲府の伝統的な研磨技法である「手摺り(てずり)」で施した多面体カット、そして裏面には切子細工を施すことで反射面が多くなり、今までにない輝きを放つ宝石となりました。職人としてお互いを尊敬しあいながら、誰も追いつけない技を極めていく2人には、山梨のジュエリー産業発展のために、伝統から生まれる新しいジュエリーの姿や技術を、次世代に継承したいという想いがあります。職人の誇りをかけ、ひとつひとつ一切の妥協なく創り上げる甲州貴石切子は、人々に感動を与える美しさです。